

令和4年度第5回理事会議事録

1. 日 時：令和4年10月3日（月）18：00-19：30
2. 出席者：奥沢悦子、吉田泰憲、木村正彦、須藤安史、逆井久美子、川口裕美、佐藤舞、高松みどり、小山内誠、津嶋里奈、齋藤賢、鹿摩悟、中村安孝、河村義雄、國分慎、四釜育与、田村栄子、吉岡治彦、齋藤浩治、石山雅大
3. 欠席者：なし

定款第5章第32条及び諸規定により、議長に奥沢会長があたり、書記に齋藤賢理事が指名され、審議が行われた。審議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、オンラインで行われた。

【報告事項】

1. 学術部経過報告
吉田学術部長より青臨技精度管理調査について以下の報告があった。
Google フォームを作成し案内文と精度管理の試料に添付する説明文書も作成した。理事会で確認後、施設の連絡責任者へ奥沢会長の名前をもってメールで配信する予定。
申し込みの期日は10/18（火）17時までだが予備日を三日間設けて10/21（金）を最終締め切りとする。11/5（土）に青森市民病院の場所を借りて試料を準備して発送する予定。
2. 公益部経過報告
木村公益部長より高校生心電図検診に関して以下の報告があった。
尾上総合高校は対象の生徒が前の学校で実施していたため中止となり、10/1 は北斗高校だけ実施した。
齋藤（浩） 監事より野球肘検診について以下の報告があった。
まだ技師を募集している状況。締め切りまで期間があるが弘前、十和田が現時点で2人と少ない。
3. 渉外部経過報告
須藤渉外部長より特になしと報告があった。
4. 事務局経過報告
逆井事務局長より特になしと報告があった。

5. 奥沢会長より報告

①第 72 回日本医学検査学会について

2023/5/20（土）・21（日）群馬で開催される。

②中部四国学会での赤字について

参加人数が少なかったことや Web 開催で経費がかさんでしまったことから赤字となってしまう。計画の段階で参加人数が少ないことが予想される場合は執行理事に相談してほしいとのこと。

③政策渉外関連事項等における現状把握のための調査協力施設の選定依頼について

10/18 までに県内から 4 施設選定しなければならない。

④共済申請について

8 月の豪雨災害による被災の届け出が 1 件あった。全国では別の案件で 2 件あった。

⑤品質保証認証（生理部門含む）10 部門について

256 施設中 240 施設が合格した。青森県内では十和田市立中央病院、青森労災病院、村上病院、八戸市民病院が認証されている。来年は 2～3 月に申請の受付が始まる。

⑥宮島会長の報道に関して

宮島会長からのビデオレターを配信することとなった。
9/28 より日臨技の HP に掲載している。

⑦タスク・シフト／シェアに関して

予定参加人数 50 名に達せず開催不可に関して、人数 50 制限枠の見直しを日臨技理事会にて執行理事に提案した。日臨技事務局より、採算の関係で 50 人をお願いしたい。但し、今後県をまたいでの開催も許可する方向で考えているとの回答があった。

⑧施設代表者会議について

9/21（水）に開催した。主な内容は、地域医療体制確保加算の説明、タスク・シフト／シェア延期の件、北日本支部学会座長推薦の御礼、お知らせ伝達方法について（一斉メールと青臨技 HP への誘導）、精度管理および青臨技会誌発行に向けて。
タスク・シフト／シェアに関して齋藤（浩）監事より以下の報告があった。
会場と先生の都合を調整し、今年度は 12/25（日）に開催する。延期となった 9/11 に申し込んだ人を最優先で受付し、足りない分を募集する方向。前日の 12/24（土）に機のセッティングなど細かい設定をする。

6. 青臨技会誌経過報告

現在論文の投稿は締め切りを終えており、合計9編になる予定。

査読は2名（学術担当と専門分野に詳しい方）で行う。査読後に修正も含めご本人へ返す。その後修正して提出されたものをもう一度査読し、ご本人へ返す。昨年と同様に仮の印刷の状態再度ご本人に確認してもらう予定。

また、支部だよりには去年の理事の名前が載るが、古い情報となってしまうため今年の各支部の理事の名前も載せてはどうかという提案があった。

理事に了承を求めたところ、多数の出席者が異議なく了承された。

【議題】

1. 北日本学会等での、交通費・宿泊費支給に関して

座長やパネリスト、シンポジウムを頼まれている方の交通費や宿泊費の支給に関して認識を統一したいとの提案があった。日臨技では国家公務員の規定に準ずるとなっている。旅費規定に理事会の承認を得て臨機応変に対応するという一文を入れてはどうかという意見や、細かく変更するよりも理事会の承認を得るとした方がよいのではないかという意見が出たため、逆井事務局長の方で文面を考えて再度提案することとなった。

2. Zoom のパスワード管理について

・Zoom の運用は以下のように行う

①部門長・県理事が研修会を開催する場合

パスワード管理者へ問い合わせし、Zoom への登録や当日のホストは自身で行う。

②部門員が研修会を開催する場合

部門員はまず支部理事へ研修会申請をする。支部理事は支部長にパスワード問い合わせを依頼、依頼を受けた支部長はパスワード管理者へ問い合わせし、通知されたパスワードを支部理事へ通知する。研修会当日は支部理事がホストとなって部門員を補助する。

・マニュアルは申請書のところに載せる。

3. 政策渉外関連事項等における現状把握のための調査協力施設の選定について

審議の結果以下の施設となった。

・大病院（500床以上）：八戸市立市民病院

・中病院1（200床以上500床未満）：十和田市立中央病院（検討中）

・中病院2（100床以上200床未満）：当てはまる施設が限られることが予想されるため
奥沢会長が調べることとなった。

・小病院（100床未満）：かなぎ病院

4. 石山監事の伊藤機一賞受賞について
奥沢会長より受賞画像を青臨技のHPに掲載したいという提案があった。
理事に了承を求めたところ、多数の出席者が異議なく了承された。

上記の事項について理事に了承を求めたところ、多数の出席者が異議なく了承された。

【その他】

1. ピンクリボンキャンペーン 2022 について
協賛の承諾は連絡済み。振込用紙が来たら会計へ送る。
2. 災害時の申請に関して
逆井事務局長より日臨技では会費の減免申請書を提出すると会費や研修会の費用等が免除になる規定がある。青臨技では規定が無いため、今後のため規定を作るのかどうか、今回はどう対応するか審議したいという提案があった。
会計事務取扱規定を確認したところ、会費減免の特例に「会長は会員に特別な理由があると認められる場合は会費を減免することができる」という文言があったため、これに沿って災害時も対応することとなった。今回豪雨災害に遭われた方は会費を減免することとし、今年度の会費を返金するか来年度の会費を免除するかは日臨技の対応を調べてから決定することとなった。
3. 賛助会員の状況について
現在 24 件受付対応しており、募集は 11 月末までとしている。
4. 認知症に関する取り組みについて
青臨技のHPをオレンジ色にする取り組みが9月で終了したため、10月から元の色へ戻すこととなった。
5. 会報について
奥沢会長より第48回青森県医学検査学会の学会長である鹿摩理事へ学会を終えての文章作成依頼があった。
6. 名誉会員について
奥沢会長より川村多蔵さんと山崎正夫さんを名誉会員に推薦したいという提案があった。
理事に了承を求めたところ、多数の出席者が異議なく了承された。

7. 臨地実習について

石山監事より現在北海道に技師の養成校が 6 校あるが実習先に困っている。青森県から進学した学生もいるため、実習生の受け入れは就職にも繋がると思っている。皆で頑張っていきたいとの報告があった。

8. 70 周年記念誌について

60 周年記念誌の内容を参考に考えていく。

9. 公文書の送付方法について

委嘱状等の公文書は基本的に支部長や部門長を通してすべてメール対応でよいかという提案があった。支部長や支部の事務局長は会員メールアドレスを把握していないため、再度検討することとなった。

上記の事項について理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会長

印

監事

印

印